



さんあーる Reduce ・ Reuse ・ Recycle
～3R活動 (リデュース・リユース・リサイクル) でごみを減量化～

みんなで取り組む環(循環型)のまちづくり

分別作業現場の声

その他プラスチックに
混入物が多くて

「困っています」



リサイクルプラザ
瀧上 将さん

市内各地から回収された資源ごみは、全て落合町阿部にあるリサイクルプラザへ集められ、再資源化しやすい状態にしてから再資源化する業者へ引き渡しています。

リサイクルプラザの瀧上さんは、「今、最も問題になっているのは『その他プラスチック』です。ごく一部の人に限られる話ですが、洗っていないものや残飯と一緒に捨てているため、回収したバッグの中身をすべて手作業でチェックをすることになります。チェック作業は大変ですが、再利用のためには必要な作業と考えています。」と話されています。

そこで、再確認！

「その他プラスチック」とは、ペットボトル以外のプラスチック製の容器または包装で、プラマークの表示があるものをいいます。



(例) 菓子袋・食品トレイ・レジ袋
カップ麺のカップ・弁当の容器
洗剤やシャンプーのボトルなど

(出し方)

トレイ・弁当容器・カップ類は異物を取り除き、水洗いなどで汚れを落とす。
ボトル・チューブ類は中身を使い切り、水洗いなどで汚れを落とす。



カミソリは「燃やせないごみ」、ペン型インシュリン注入器(ノボペン)は「燃やせるごみ」です。

「その他プラスチックはリサイクルすることが目的です。水洗い等でも汚れが落ちないものは、燃やせるごみに出して下さい。」

こんなものが
一緒に入っているんです!!



約1カ月間に見つかった「その他プラスチック」以外のもの。中にはカミソリ、注射器、包丁といったものまで入っていました。分別作業するときに大変危険です。

できることから始めよう ごみ減量大作戦!!

優先順位は

「リデュース」→「リユース」→「リサイクル」

3R活動を実践していくときに覚えておきたいのが優先順位です。

一番優先したいのは「リデュース」⇒ごみを減らすことです。すぐに使わなくなったたり、いらなくなったたりする物は、ごみを増やす原因になります。物をつくったり、買ったたりするときは「ごみを出さない」ことを意識することが重要です。

次に優先したいのが、「リユース」⇒同じ物を何度も使う、繰り返し使うこと。そして最後に「リサイクル」⇒資源として再利用することです。

同じ形のまま繰り返し使うリユースは、リサイクルよりもエネルギーを使わず、ごみも増やさず、よい環境にやさしい取り組みです。それでは、3Rの具体的な事例を紹介します。

①ごみを減らす
「リデュース」
「買った物にはマイバッグを持って」

ごみを減らすリデュースへの一歩は買い物ごきのときに始まります。

買い物をしたときにもらうレジ袋の年間使用量は1人当たり約300枚と言われており、この量を減らすための取り組みが、マイバッグの持参です。

マイバッグを持参することで、レジ袋を受け取る機会が減ります。不要なレジ袋を受け取らないという一人一人の小さな行動がごみの減量化につながっていきます。

そのほかにも、ふだん当たり前のようにお店からもらい使い捨てにしている物を見直して、できるだけ減らすこと大切です。



②繰り返し使う
「リユース」
「何度も使う「リターナブルびん」に注目」

リユースとは、一度使い終わった物を、そのままの形、同じ用途で数回使うことです。

古着や古本、中古家具、中古家電などを売ったり、買ったたりするのにもリユースです。

もう一つ注目したいのが「リターナブルびん」です。リターナブルびんは、使い終わったびんをきれいに洗い、繰り返し使うガラスびんで、お酒やビール、ジュースのびんのほか、「R」マークが刻印された「Rびん」などがあります。リターナブルびんは繰り返し使えば使うほど、環境に与える負荷が少なくなります。



③生まれ変わる
「リサイクル」
「分別から始まるリサイクル」

使用済みになって使えなくなった物を、もう一度資源として利用するリサイクル。

家庭から出る缶やびん、古紙、ペットボトルなどの資源ごみがリサイクルされるためには、一人一人がきちんと分別回収のルールに従って、資源ごみを出すことが重要です。

分別回収された資源ごみは再資源化されて、新しい商品に生まれ変わります。そのリサイクル製品をみんなが利用することで、初めて資源循環の輪が繋がります。

また、資源ごみを分別し出すだけでなく、リサイクルされた製品を進んで買うようにすることもリサイクルを進める行動の一つです。